



六 建 第 492 号
平成 20 年 10 月 15 日

国土交通省 道路局長 殿

青森県上北郡六戸町長 吉 田 豊



今後の道路行政についての意見について(提出)

平成 20 年 9 月 19 日付け国道企第 37 号で意見の依頼がありました件について
別紙のとおり提出しますのでよろしくお願いします。

【青森県六戸町から今後の道路行政への意見】

重点化を進める上で特に優先度の高い政策への意見

地方として、特色ある街づくりが必要でありその根幹をなすのが道である。

優先度としては、

- I 高齢化が進んでいることから医療（病院等）機関と連携する高規格幹線道路の整備（一般国道45号上北道路と八戸南環状道路の整備により現在渋滞の著しい八戸市街地を通過することなく第3次救急医療施設（八戸市立病院）へ救急車の搬送時間の短縮が図られる高規格幹線道路の整備）
- II 地域間交流、観光交流等のための幹線道路の整備（一般国道45号上北道路、八戸・六戸・十和田・奥入瀬ライン道路の整備により新幹線八戸駅へのアクセス向上と、十和田八幡平国立公園への観光客の時間短縮が図られるネットワークの整備）
- III 雪対策道路の確保（一般国道45号、県道、町道1.2級は通勤・通学・救急など町民が生活する上で重要な路線となる。また、降雪時も常に確保しなければならないことから雪に強い道路整備）
- IV 災害時の幹線道路の整備（大雨、災害時、あるいは六戸町も地域指定をうけた日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に対する防災対策の一つとして一般国道45号上北道路、一般国道45号、県道の整備は、避難路、救援、救助、救援物資の輸送路としても災害に対応した道路整備は重要）
- V 幹線道路の維持、修繕の充実（六戸町は、高齢者に優しい歩道整備と日常的な時間短縮を図るため、役場中心部と集落を結ぶ幹線道路の維持と修繕に力を入れていることから一般国道45号歩道整備、県道、町道1、2級の維持、修繕の充実が重要）

効率化を徹底的に進める上で重視すべきことへの意見

効率化に努力されていることと思いますが、今後さらに重視してほしいことは、

- I 既存道路を有効利用する（現在東北縦貫自動車道八戸線には八戸ICと八戸北ICが設置されているが、新幹線八戸駅あるいは、第3次救急医療施設（八戸市立病院）へ向うには、渋滞の目立つ八戸市の中心市街地を通過しており、到着までの時間が長い。そのため、既存ICの中間に八戸西スマートICが設置されれば、新幹線八戸駅までの時間短縮と八戸市立市民病院への救急患者の搬送時間の短縮が図られる）
- II 道路整備スケジュールの公表及び確実性（一般国道45号上北道路の早期完成。さらに北伸し、第二みちのく有料道路と接続し、はじめて移動時間の大幅な短縮が図られるため残りの区間の早期着工が必要であり、その整備スケジュールの公表により住民が理解できる説明が必要）

道路政策や道路の整備・管理全般への意見

- I 道路は単に移動手段ではなく、そこには高度医療施設との連携、観光資源活用、地域間交流、生産物の輸送、大規模災害、冬季間の道路確保等あらゆる分野と密接な関係にあり、社会の骨格をなすものであると考えます。このようなことから将来の道路づくりのあるべき姿を考えた時、道路の重要性は国民の理解が得られると考えます。
- II 地方にあっては、道路の清掃活動を通して、地域のコミュニケーションが図られるなど、「人」「地域」「道」は一体となっており少子高齢化（六戸町の高齢化率は26.6%）が進む今日、このような活動は今後ますます重要になると考え、将来にわたって道の重要性は変わらない。
- III 道路利用者の利便性向上のための「道の駅」は道路情報、観光情報の発信機能の他、地域との交流の場としても、今後ますます重要な施設となると考えます。
- IV 六戸町の特産の主なものは、にんにく、人参、長芋、ごぼうであり、それらは大型保冷車で、主に関東、関西、四国、九州方面の市場に出荷されている。流通の高速化と鮮度維持のため輸送路としての高規格幹線道路の整備は当町にとってとても重要なことである。
- V 地方道路交付金事業は地方の自主性を高めた制度となっていることに感謝し、今後とも制度の拡充をしつつ、事業の継続と予算の安定的な確保をお願いします。